

## 「住吉の語り部になりたい」 シリーズ第5回

料亭つたも主人・深田正雄

2011年8月30日

### 住吉神社石柵寄進者より・古川為三郎翁エピソードと飲食業者

前回は昭和34年建立の若宮八幡社の寄進品よりキャバレーミカドで一世を風靡した山田泰吉翁をご紹介しました。もう一人の住吉の名物じいさん古川為三郎翁についてお話ししましょう。1988年（昭和53年）、アメリカの経済誌『フォーチュン誌』に、“世界最高齢の富豪”（当時98歳）として取り上げられ話題となり、資産4兆3000億円と称された為三郎王国は住吉から南に始まります。古川翁より2年先輩の親しい仲間・明治21年生まれ祖父深田良矩が語ったエピソードを紹介しましょう。

**どえりゃ土地持ち！** 兎に角、広小路から大須南までフルタメの土地続きで繋がるとるぞ。この前もツタモの南角の土地を坪50万で契約しようとしたら古川が急に坪60万で取ってしまったがや、悔しいな。

**日本画収集家：** 著名な日本画家の秀作が出品されたらフルタメに見つからんように買わんと、皆かっされわれてしまうがや。倉庫にしまって置くなら、料亭でお客様に楽しんでもらったほうが絵も喜ぶのに？今年も美術クラブの杉山寧・東山魁夷の新作、フルタメ落札だ。また、悔しい思いだ！

**節税で国税・役人を・・・相続税評価の路線価・この住吉界限がチョット安い評価の理由を知とるか！**フルタメが新任局長達を接待して、将来の相続対策しとるがや。でも、宴会やるなら蔦茂なら嬉しいけど、いつも河文では！おもしろないのだ。

**大金持ちのドケチ：**住吉神社建立、ドーンとデッカイ寄付を期待したのだ。翁の関連する企業の中では住吉ホテル名で石柵ひとつが寄贈されました。でも、一番小さい石柱一本とは町内をナメトレせんか？

**若い女の肌が大好きスケベ爺さん：**住吉で最近はやりのピンクサロン、80歳超えても毎晩出入りしとるがや。隣のヘルスへ行くのでヘラルドの番頭から頼まれて蔦茂の玄関番がお守をしていたようです。フルタメは毎晩、若い女の肌を楽しんでいるそうな！羨ましいな！

親しいのか、悔しいのか、祖父はフルタメさんの事を羨望しながら、ヘラルドグループの創始者としてスケールの大きな人物に感心する毎日のようでした。慈善事業に力を尽くし、名古屋大学の古川記念館、世界デザイン博覧会開催時・市への寄贈、そして、自らが所蔵していた書画骨董を寄付して古川美術館を設立、103歳の天寿をまっとうされた偉人。住吉のホテル、パチンコ、ゲームセンターなどが、ヘラルドコンツェルンの戦後のスタートといえます。

## 住吉神社・外柵石柱寄進者リスト

住吉ホテル：フルタメさんの住吉で戦後最初の事業、名古屋観光ホテルが進駐軍に接収させていましたので、日本人が泊まれる唯一のホテルでした。勿論、米軍の利用も多く向かいの赤玉会館とならびいつも満室。幼稚園児の正雄君は蒲団に足があり（ベッド）、靴のまま部屋に入るのでビックリしていました。



その後、パチンコ、ゲームセンターを経て、現在はコインパーキングとなっています。先日、フルタメさんの孫・古川為之さんとお話したら経営母体の株式会社住吉会館は現存している組織との事。

社交デパート 女の城・赤い靴：現在はガーラントホテルと居酒屋畳畳など。「やぎや」として話題となった居酒屋ビルはキャバレーの建物から転用された面影があります。米軍と邦人庶民と一緒に楽しんだ遊興施設はルナパークという名称となりました。ホテルの佐枝オーナーの叔父さんが手掛けた事業と思われます。

千代富久：待合風の割烹料理店、現在は月極め駐車場（栄3-9-3）

香楽：住吉2丁目東北角の老舗かしわ料理店、東区白壁の料亭香楽さんとは先代がご兄弟とか、現在は新和ビルで一階にはコーヒー店ボルサが入居（栄3-9-1）



八百健・高田富次郎：名古屋ナンバーワンの老舗八百屋さん、住吉の高級飲食店への業務用青果を一手に取り仕切る。八百屋に高田姓が多いのはこの親戚筋、また、暖簾分けも多い。現在はジリオンパーキング名で立体駐車場（栄3-9-2）

次号に続く